

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成17年12月16日	
		作成部署	丹後広域振興局農林商工部	
事業名	治山事業(水源流域地域保全)	構想番号	(農・丹)構17-2	
		地区名	加悦町与謝	
概算事業費	183,000千円	事業期間	平成18年度 ~ 平成20年度	
事業概要	治山ダム工 8基 森林整備(本数調整伐)28.7ha			
関連する公共事業	なし			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	生態系	・自然環境豊かな森林地帯において平成16年10月台風23号により崩壊が発生、多量の土砂が流出し裸地が広がり豊かな植生が破壊されたため、その復元が必要。	・必要最低限の治山ダム工による異常流出土砂の固定と、現地採取石礫を利用した工法による荒廃地の整理で、植生を回復。 ・森林整備、木製構造物の採用により、CO ₂ 吸収・固定に寄与。	
	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)			
生活環境	水環境・水循環	・当該地区内溪流は水量豊かで簡易水道水源になっているため、その維持が必要。	・施工中は廻排水により、簡易水道施設へ浄水を供給。 ・上流型枠に残存型枠を採用するなど、廃棄物の低減を図る。	
	廃棄物・リサイクル			
地域個性・文化環境	景観	・自然豊かな農山村の景観がひろがっており、構造物等による景観の影響をできるだけ避ける必要がある。	・必要最低限の高さの構造物により、景観の改変は最小限とする。	
地域の環境像	施行地区は、自然豊かな大江山連峰赤石岳の北面に広がり、溪流は水量豊かで、水辺環境と動植物の生息に適した箇所である。また、山河地区簡易水道水源となっている。			
特記事項	事業実施に際しては、荒廃地の早期環境回復を考えるとともに、必要最低限で景観に配慮した施設の設置が必要である。			

「環境評価」欄には、評価項目ごとの環境配慮の自己評価を記載する。(改善、中立、悪化×)